

家庭学習のすすめ

松伏町立松伏第二小学校

子どもたちが学校で学習したことを身につけ、自分から学ぶ習慣を身につけて学ぶ楽しさを感じとることができるように、「家庭学習のすすめ」を作成しました。ご家庭でのご理解、ご協力をお願いします。

○子どもの可能性を伸ばすはたらきがけをしましょう。

*集中して学習させましょう。

(テレビを見ながら、何かを食べながらの「ながら学習」では、しっかりと身につけません。また、周りも学習する環境にしましょう。)

*学年に応じて、声かけや見届けをしましょう。

*行ったことを褒め、認めましょう。励ましながら、やる気を育てましょう。

*時にはお子さんと一緒に本を読んだり、観察したりして学ぶ楽しさを共有しましょう。

*折にふれて、家庭学習を続ける大切さを話し合いましょう。

○生活のリズムを整えましょう。

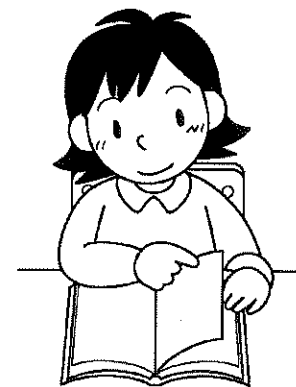
*「早寝・早起き・朝ごはん」を合い言葉に一日のスタートをきりましょう。

*家族の一員であることの自覚を高めるために、家の手伝いや役割分担された仕事を行わせましょう。

*テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう。



かしこく
やさしく
たくましく



なぜ、家庭学習が必要？

1 習ったことを忘れない

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。エビングハウスの忘却曲線によると、学習したことを復習しないと覚えたことの50%以上を次の日には忘れてしまうそうです。人間は、忘れることで新しいことを覚えていくのですが、学習では困ります。学習したことをもとに新しいことを覚えることが大切です。学校で学習したことを家庭でも毎日繰り返し練習することが何よりも大切です。

2 脳が発達する

読み・書き・計算などの反復練習を続けることにより脳が活性化する、と言われていています。最近では、脳の老化を防ぐために、子どもだけでなく、大人でも声を出して本を読むことや計算問題をしたりすることが「脳トレ」と言われブームになっています。脳は筋肉と同じで、鍛えれば鍛えるほど発達すると言われていています。子どものうちから脳を鍛えましょう。

3 学ぶ習慣と楽しさが身につく

毎日欠かさず家庭学習を続けることで、自分から進んで学ぶ楽しさや喜びを身につけることができます。毎日続けることで、面倒だと思ふことが当たり前という生活習慣になります。低学年の時から毎日欠かさず、家庭学習を続けることが大切です。

4 誘惑に負けない子に

家庭学習を続ける上で最大の敵はテレビやゲーム（遊び）です。テレビやゲームに毎日2時間以上費やしている子どもは、一般的に読書が苦手で、学習への集中力がなく、勉強が嫌いです。また、人を馬鹿にしたり、暴力をふるったり、人を殺したりする映像は、子どもの成育に悪い影響を与えます。テレビなどの誘惑に打ち勝つことにより、我慢・根気・集中力を養うことができます。

テレビやゲームに打ち勝つためには、本人はもとより家族みんなの協力が不可欠です。時には、「ノーテレビ・ノーゲームデー」を設けて家庭学習の時間の確保や家族の団らんの時間に行ってみましょう。



5 家族のふれあいができる

子どもが本を読んでいるときにそばで聞いてあげる、わからないときにアドバイスしてあげる、など家庭学習している子どもに親が関わることで家族のふれあいができます。特に低学年の子どもには一緒に本を読んだり、本を読んであげたりすることは子どもの発育過程においても大切なことです。

家族のふれあいの機会が増えることにより、子どもが心身ともに健康に育ち、自信とやる気を深め、さらに学力も伸びていきます。

規律ある態度が 学力を伸ばす

規範意識・基本的な生活習慣や学習習慣・けじめのある主体的な態度、これらがしっかり身につけている子どもは、学ぶ意欲や学習規律が確立してきており、学力が伸びていきます。事実、本校でもあいさつができるようになるにつれて、学力が伸びてきています。埼玉県では、「教育に関する3つの達成目標」のなかの「規律ある態度」の達成目標として、「けじめ」「礼儀」「きまり」の3つについて下記のような内容を取り上げて取り組んでいます。

○けじめある生活ができる

- 1 時刻を守る
- 2 身の回りの整理整頓をする

○礼儀正しく人と接することができる

- 3 進んであいさつや返事をする
- 4 ていねいな言葉づかいを身につける

○約束やきまりを守ることができる

- 5 学習のきまりを守る
- 6 生活のきまりを守る

これらの内容が身につくことで

- *自立心が育ちます
- *物を大切にできる心が育ちます
- *明るい心、感謝する心が育ちます
- *思いやりの心が育ちます
- *学習意欲が育ちます
- *公共心、公德心が育ちます

そして、規律ある態度を身につけ、生活のリズムをしっかり整えることが学力向上につながります。



「礼」とは旧字では、「禮」と書きました。「豊かさ」を「示す」ということです。何の豊かさでしょうか？それは、「心の豊かさ」です。「けじめ・礼儀・きまり」を徹底させましょう。

家庭学習のすすめ (1, 2年)

☆なん時にべんきょうするか、おうちの人ときめましょう。
できれば、まい日おなじ時かんにべんきょうしましょう。
☆もくひょう時かンは、まい日20ぷんいじょうです。

1 やくそく

べんきょうをはじめるまえに

*学校からのお手がみは、その日のうちにおうちの人にわたしましょう。

*つくえの上をかたづけましょう。

*べんきょうするときは、テレビをけしましょう。

べんきょうのしかた

*正しいしせいで、しゅうちゅうして学しゅうしましょう。

*字をていねいにかきましょう。せんをひくときは、じょうぎをつかきましょう。

*本よみは大きなこえで、ゆっくりはっきりよみましょう。

*もんだいはこえを出してよみ、じぶんでかながえましょう。

べんきょうがおわったら

*おわったらもう1どみなおしましょう。おうちの人にみてもらいましょう。

*えんぴつをけずり、つぎの日のよういをしましょう。

2 こんな学習をしよう

◎おんどく

○こえに出して、すらすらよめるようにしましょう。

○「。」(かいわぶん)に気をつけて、よんでみましょう。

◎かこと

○ひらがな・かたかな・かん字を、正しいかきじゆん・かたち・おくりがなでかけるように、ていねいにれんしゅうしましょう。

○こくごのきょうかしよのぶんを、正しくはやくかきうつせるようにれんしゅうしましょう。

○まちがいは、けしごむできれいにけしましょう。

◎さんすう

○きょうかしよのまちがえたもんだいをやりなおしましょう。

○かずのよみかた・かきかたをれんしゅうしましょう。

○たしざん・ひきざんのれんしゅうをしましょう。

○かけざんをべんきょうしたら、九九がすらすらいえるようにれんしゅうしましょう。

◎どしよ

家庭学習のすすめ (3, 4年)

- ★ 何時に勉強するか、家の人と決めましょう。できれば、毎日同じ時間に勉強しましょう。
- ★ 目標時間は、毎日40分以上です。

1 やくそく

勉強を始めるまえに

- * 学校からのお手紙は、その日のうちにお家の人にわたしましょう。
- * つくえの上をかたづけましょう。
- * 勉強するときは、テレビを消しましょう。

勉強のしかた

- * 正しいしせいで、集中して学習しましょう。
- * 字をていねいに書きましょう。線をひくときは、じょうぎを使いましょう。
- * 本読みは大きな声で、ゆっくりはっきり読みましょう。
- * 問題は声を出して読み、自分で考えましょう。

勉強が終わったら

- * 終わったらもう1度見直しましょう。お家の人に見てもらいましょう。

えんぴつをけすり、つぎの日の用意をしましょう。

2 こんな学習をしよう

- ◎ 音読 ○ 声に出して、すらすら読めるようにしましょう。
○ 会話「 」に気をつけて、読んでみましょう。

◎ 書くこと

- 教科書やドリルをよく見て、漢字をていねいに練習しましょう。
- 漢字の形・書き順・読み方・送りがな・使い方に気をつけて練習しましょう
- 国語の教科書の文章を、正しくはやく書き写せるように練習しましょう。

◎ 算教

- 教科書の間違った問題をやり直しましょう。
- 教科書やドリルを使って、習ったことをくり返し練習しましょう
- かけ算やわり算が正しくはやくできるように練習しましょう。

◎ 自主学習

- 自分で学習することを決め、計画的に進めましょう。
- 〈例〉・ 国語・ ・ 語句の意味調べ・ 熟語集め・ 短文作り
- ・ 算数・ ・ 問題作り・ 単位を覚える
- ・ 社会・ ・ 地図記号・ 都道府県 ・ 理科・ ・ 観察・ 実験のまとめ
- ・ 自分にあった問題集を行い、答え合わせをし、間違いを直す

◎ 読書

家庭学習のすすめ (5, 6年)

- ☆ 何時に勉強するか、家の人と決めましょう。
できれば、毎日同じ時間に勉強しましょう。
- ☆ 目標時間は、毎日1時間以上です。

1 やくそく

勉強を始めるまえに

- * 学校からのお手紙は、その日のうちにお家の人にわたしましょう
- * つくえの上をかたづけましょう。
- * 勉強するときは、テレビを消しましょう。

勉強のしかた

- * 正しいしせいで、集中して学習しましょう。
- * 字をていねいに書きましょう。線を引くときは、じょうぎを使いましょう。
- * 本読みは大きな声で、ゆっくりはっきり読みましょう。
- * 問題は声を出して読み、自分で考えましょう。

勉強が終わったら

- * 終わったらもう1度見直しましょう。お家の人に見てもらいましょう。
- * 鉛筆をけすり、次の日の用意をしましょう。

2 こんな学習をしよう

◎音読

- 声に出して、すらすら読めるようにしましょう。
- 会話「 」。」に気をつけて、読んでみましょう。

◎書くこと

- 教科書やドリルをよく見て、漢字をていねいに練習しましょう。
- 字形・書き順・読み方・送りがな・使い方に気をつけて練習しましょう
- 書けない漢字を中心にくり返し練習しましょう。

◎算数

- 教科書の間違った問題をやり直しましょう。
- 教科書やドリルを使って、習ったことをくり返し練習しましょう
- 分からない問題は、教科書やノートを見て考えましょう。

◎自主学習

- 自分で学習することを決め、計画的に進めましょう。
- 〈例〉・ 国語 ・ ・ 語句の意味調べ・ 熟語集め・ 短文作り
- ・ 算数 ・ ・ 問題作り・ 単位を覚える
- ・ 社会 ・ ・ 地図記号・ 都道府県名・ 世界の主な国名・ 歴史の出来事、人物、年号
- ・ 理科 ・ ・ 観察・ 実験のまとめ
- ・ 自分にあった問題集を行い、答え合わせをし、間違いを直す

◎読書